

～古賀院長エッセイ～

## 次代への風



### 対策

コロナ問題で様々な対策がなされていますが、日に日に緊張が増しているようです。

誰でも感染する可能性があり、また知らぬ間にウィルス伝播者になる可能性もあり、著名人も亡くなられた事もあり、日常の意識が大きく変化してきました。

パンデミックやクラスターという医学的専門用語も聞きなれない言葉ではなくなり、医療施設や医療関係者の感染との戦いも熾烈になってきています。感染症専門の方々の意見やアドバイスが毎日報道され、皆さんもそれぞれに手洗い、マスク着用、三密を避けるなどのこまめな注意を払われていることと思います。

公には外科医の出番は少ないようですが、基本的な感染対策については、外科医ほど実践している者はいないと思います。そもそも細菌やウィルスはそこら中にいるものであり、手術にあたっては感染予防が最大の課題になります。基本的な清潔不潔の区別や手洗いなどは研修医時代に毎日鍛えられ、経験を積んで見えない敵にも空気を読んで無意識に反応できる体を作っていきます。血液や余分な組織は細菌が最も好むものなので、出血を最小限にし、組織を整理しながら手術を進めます。手術は実践ですが、日常のいろいろな場면을訓練として心がけて過ごしています。

今そこの手術室の緊張感が広く一般に必要と思われれます。森の木も全体が手術室と考えて取り組むように指示しています。恐れるだけでは負けてしまいます。果敢に戦う姿勢でこの難局を乗り越えたいものです。



### 院長 語録

- 時間を大切に  
意識して「きびきび」と行動すること